

# 注 意 報

農技セ第 5012 号  
令和 8 年 6 月 5 日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長

令和 8 年度農作物病害虫発生予察情報について

令和 8 年度農作物病害虫発生予察注意報第 2 号を公表したので送付します。

令和 8 年度病害虫発生予察注意報第 2 号

令和 8 年 6 月 5 日  
徳 島 県

5 月第 4 半旬から第 6 半旬に行ったフェロモントラップ定点調査において、ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウの誘殺数が平年に比べて多く、今後、本幼虫による被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

現地ほ場においては、本虫の発生状況を注視するとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：サツマイモ、野菜類、花き類

病害虫名：ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 6 月上・中旬～
3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

#### 4. 注意報発令の根拠

(1) 県内のサツマイモ栽培圃場 4 地点に設置したフェロモントラップ調査において、ハスモンヨトウは、5 月第 4 半旬から第 6 半旬までの平均誘殺数合計が 194 頭と平年 (120 頭) の 1.6 倍となった (図 1)。

特に、松茂町では、204 頭と、平年 (97 頭) の 2.1 倍、徳島市川内町では、218 頭と、平年 (116 頭) の約 1.9 倍となった。

シロイチモジヨトウは、5 月第 4 半旬から第 6 半旬までの平均誘殺数合計が 580 頭と、平年 (100 頭) の 5.8 倍となった (図 2)。

特に、鳴門市大津町では、527 頭と、平年 (73 頭) の約 7.2 倍、鳴門市里浦町では 1,019 頭と、平年 (163 頭) の約 6.3 倍となった。

- (2) 県内 16 箇所のサツマイモ巡回圃場におけるハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウの発生量は平年並であった。
- (3) 県内の野菜類圃場 9 地点に設置したフェロモントラップ調査において、ハスモンヨトウは、5 月第 4 半旬から第 6 半旬までの平均誘殺数合計が 108 頭と、平年（75 頭）の約 1.4 倍となった（図 3）。
- 特に、石井町では、97 頭と、平年（35 頭）の約 2.8 倍、吉野町では、170 頭と、平年（83 頭）の約 2.0 倍となった。
- シロイチモジヨトウは、5 月第 4 半旬から第 6 半旬までの平均誘殺数合計が 219 頭と、平年（46 頭）の 4.7 倍となった（図 4）。
- 特に、徳島市不動西町では、527 頭と、平年（56 頭）の約 9.4 倍、阿波市市場町では 326 頭と、平年（44 頭）の約 7.4 倍となった。
- (4) 県内 6 箇所の夏ネギ巡回圃場におけるハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウの発生量は平年並であった。
- (5) 高松地方气象台が 5 月 28 日に発表した 1 か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込みとされており、今後、栽培圃場への飛来及び加害の増加が予想される。

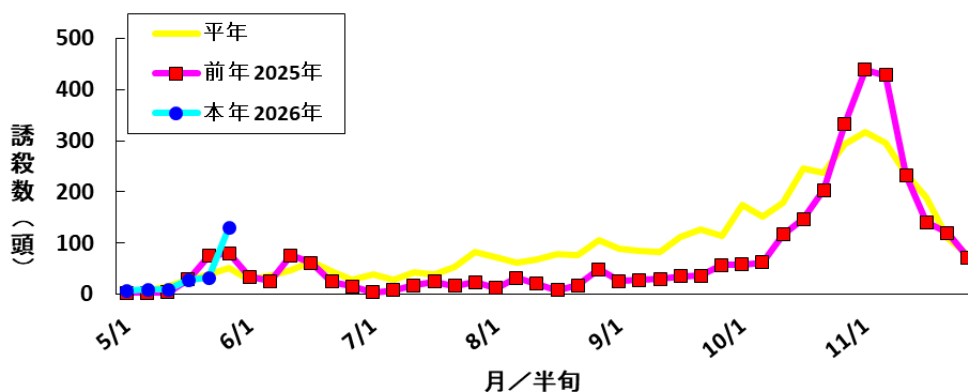


図 1 ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移  
(徳島市、鳴門市、松茂町のサツマイモ圃場 4 地点の平均)

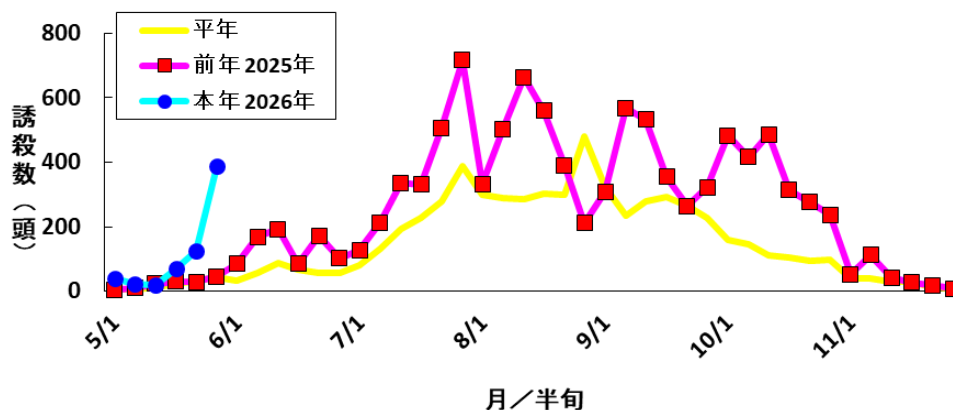


図 2 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移  
(徳島市、鳴門市、松茂町のサツマイモ圃場 4 地点の平均)

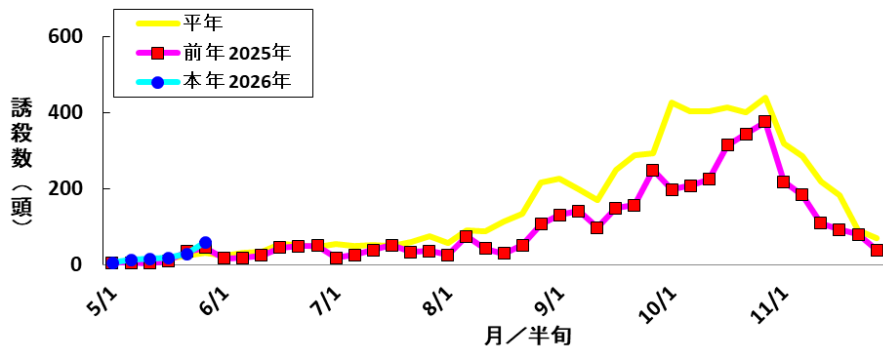


図3 ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移  
(徳島市、石井町、吉野川市、阿波市、三好市、東みよし町の野菜圃場9地点の平均)

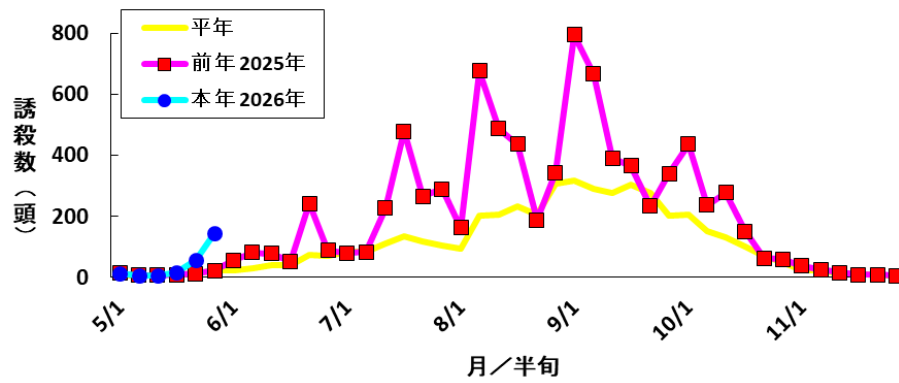


図4 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移  
(徳島市、石井町、吉野川市、阿波市の野菜圃場7地点平均)



図5 ハスモンヨトウ (左 卵塊 中 若齢幼虫 右 老齢幼虫)



図6 シロイチモジヨトウ (左 卵塊 中 幼虫 右 成虫)

## 5. 防除法等

- (1) 中・老齢幼虫には薬剤の効果が低くなるので、若齢幼虫期に防除する(表1、2)。
- (2) 卵塊や分散する前の若齢幼虫を発見したら、速やかに捕殺する。なお、施設の鉄パイプなどにも卵塊を産み付けるので、注意して観察する(図5、6)。
- (3) セル成型苗を植え付ける場合には、セル成型トレイへの灌注処理が有効である。
- (4) 同一系統の薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。
- (5) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

- (6) 今後の発生動向については、徳島県立農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病虫害防除所の各種データ・フェロモンのページを参考にする。

(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujosho/various-data>)

表1 ハスモンヨトウに登録のある農薬（登録内容：2026年6月5日現在）

作物名	農薬名称 (商品名)	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	RAC コード
いちご	アフーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	6
	コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	13
	ノーモルト乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	15
	ブレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	4回以内	UN
	フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内	28
	マトリックフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	18
えだまめ	トレボン乳剤	1000~2000倍	収穫14日前まで	2回以内	3A
	ノーモルト乳剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	15
	マトリックフロアブル	2000~3000倍	収穫前日まで	3回以内	18
	トルネードエースDF	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	22A
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	ブレバソフフロアブル5	4000倍	収穫3日前まで	3回以内	28
オクラ	グレーシア乳剤	2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内	30
	コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	13
	アタブロン乳剤	2000倍	収穫前日まで	4回以内	15
	カスケード乳剤	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内	15
	マトリックフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	18
	ブレバソフフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
かんしょ	フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内	28
	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	30
	アグロスリン水和剤	1000~2000倍	収穫7日前まで	5回以内	3A
	トレボン乳剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	3A
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
	アフーム乳剤	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	6
	コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	13
	ノーモルト乳剤	1000~2000倍	収穫7日前まで	2回以内	15
	マトリックフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	18
	アクセルフロアブル	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	22B
	ベネビアOD	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	28
	フェニックス顆粒水和剤	2000~6000倍	収穫前日まで	2回以内	28
	ブレバソフフロアブル5	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	グレーシア乳剤	2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内	30
プロフレアSC	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	30	
つるむらさき	ブレオフロアブル	1000~2000倍	収穫7日前まで	2回以内	UN
	アディオソ乳剤	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	3A
	カスケード乳剤	4000倍	収穫前日まで	2回以内	15
	コテツフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	1回	13
	ディアナSC	2500倍	収穫前日まで	2回以内	5
	ブレバソフフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
トマト	ラディアントSC	2500倍	収穫前日まで	2回以内	5
	アニキ乳剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	6
	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	30
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
	ノーモルト乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	15
	フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内	28
なす	ブレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	UN
	アクセルフロアブル	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	22B
	アフーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	6
	コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	4回以内	13
	トルネードエースDF	2000倍	収穫前日まで	2回以内	22A
	ノーモルト乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	15
	フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	ブレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	4回以内	UN
ミニトマト	ブレバソフフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	2回以内	28
	マトリックフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	18
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	30
	フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内	28
	アニキ乳剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	6
ブロッコリー	ノーモルト乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	15
	ベリマークSC	400倍	育苗期後半~定植当日	1回	28
	ブレバソフフロアブル5	100倍	育苗期後半~定植当日	1回	28
	ブレバソフフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	ヨーバルフロアブル	2500~5000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
	ファルコンエースフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	2回以内	5
	アフーム乳剤	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内	6
	コテツフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	2回以内	13
	トルネードエースDF	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	22A
豆類（未成熟）	アクセルフロアブル	1000~2000倍	収穫前日まで	2回以内	22B
	ベネビアOD	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	28
野菜類	クオークフロアブル	400倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	11A
	デルフィン顆粒水和剤	1000倍	発生初期但し、収穫前日まで	-	11A
野菜類（はくさいを除く）	ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	11A

表2 シロイチモジヨトウに登録のある農薬（登録内容 2026年6月5日現在）

作物名	農薬名称 (商品名)	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	RAC コード
えだまめ	プロフレアSC	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	30
かんしょ	アフーム乳剤	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	6
	コテツフロアブル	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内	13
	プロフレアSC	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	30
トマト	デルフィン顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	11A
	ブレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	UN
ミニトマト	デルフィン顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	11A
	ブレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	UN
ブロッコリー	コテツフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	2回以内	13
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
	トルネードエースDF	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	22A
	ベネビアOD	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	ベリマークSC	400倍	育苗期後半~定植当日	1回	28
ねぎ	ヨーバルフロアブル	2500~5000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	アグロスリン乳剤	1000倍	収穫7日前まで	5回以内	3A
	カスケード乳剤	4000倍	収穫14日前まで	3回以内	15
	グレーシア乳剤	2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内	30
	コテツフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	13
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
	ハチハチ乳剤	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	21A
	フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内	28
	ブレオフロアブル	1000倍	収穫3日前まで	4回以内	UN
	ブレバゾンフロアブル5	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	28
野菜類	ベネビアOD	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
	エコマスターBT	1000~2000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	11A
	コンフェューザーV	100本/10a(41g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間	-	-
	フローバックDF	1000~2000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	11A